

H24-004 肺炎起因菌を即時同定するオン・サイト検査システムの開発

Class ?

大研医器(株)、(株)メタボスクリーン、東京医科大

肺炎起因菌の素早い、簡便な同定への要望

- 肺炎は感染症死者数1位、患者の95%が入院(平均15日)、年間医療費1600億円以上。
- 肺炎を引き起こす菌の種類は多く、それぞれ異なる処置が必要であるが患者の35%に対して起因菌が不明のまま治療が開始されており、適切な処置の遅れで重症化を招きかねないため、迅速な起因菌の同定が求められている。

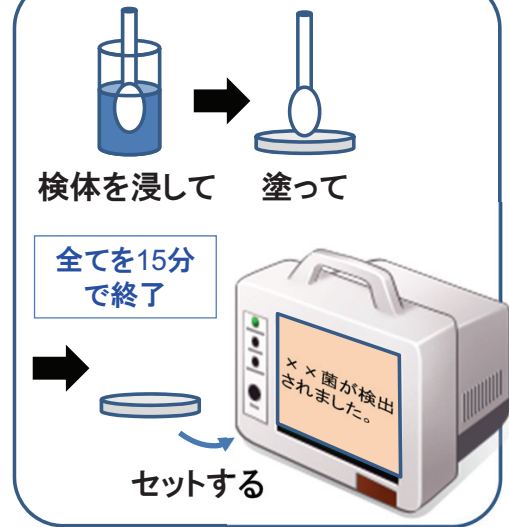
従来2~3日を要した肺炎起因菌同定をその場で実施

- 本システムでは、外来患者の肺炎起因菌を15分で同定。また、従来の培養法より高精度な遺伝子レベルの同定法を使用。
- 多忙な医療現場に合った単純操作の検査を実現。
- 適切で迅速な処置が増加し、QOLの向上、入院患者、入院日数の減少(医療経済的効果100億円以上)が見込まれる。

大研医器(株):独創性にこだわった製品を展開

研究開発型医療機器メーカーとして、主に麻酔関連、病院感染防止関連製品の研究、製造販売を行っている。本システムでは検査装置本体と検査キット(消耗品)の販売により、国内売上100億円以上を狙う。他の感染症への展開、海外展開も狙う。

検査手順



検出対象菌種

肺炎球菌、MRSA、黄色ブドウ球菌、マイコプラズマ、結核菌、レジオネラ、百日咳、インフルエンザ菌、肺炎桿菌、緑膿菌、モラクセラ

コンソーシアム

